

## 1 学期中学終業式挨拶

令和2年8月7日（金）

長い1学期が終わろうとしています。

皆さんも、先生方も、家族の人たちも不安や悔しさで一杯の4か月であったと思います。まず、この間、一人一人が感染対策をしっかりと行い自粛に耐え抜いてきたことに感謝の気持ちを伝えたいと思います。本校は、いろいろな行事の充実に力を入れていただけない、一番影響を受けた中学校であると言ってもいいかもしれません。そんな中でも、毎日明るく元気に学校生活を送っている皆さんによって私たちも大いに元気づけられています。

後ろ向きの暗い話ばかりはしたくないので、前向きな話をします。

今年度一杯は本校独自の行事や研修旅行は中止や縮小になるものが多いと思いますが、皆さんの本校での生活はあと3年から5年もあります。その間今と同じ状況が続くわけがありません。今以上に学校行事も研修旅行も充実させて、皆さん一人一人が将来の可能性を切り拓くことができる学校にしていきたいと考えています。

また、今年度は北中開校20周年です。もし可能であれば感動的な記念行事も検討しています。2年後は北高40周年です。こちら素晴らしい記念式典にしたいと考えています。同じ2年後には、本県で全国高校総体、通称インターハイが開かれます。出場する選手だけでなく、中学生も含めて全ての生徒がこのイベントに関われるようにしていきたいと考えています。さらに、5年後には全国高校総合文化祭が本県で開かれます。北高はその準備や運営の中心になる学校です。中1の皆さんがその中心になります。ぜひ文化部も5年計画で日本一を目指して取り組んでほしいと思います。

私は今がチャンスだとも考えています。日本中が自粛ムードだけに、今の時間を有意義に、精一杯努力している人は勉強でも部活動でも有利な立場に立つことができます。ぜひ、困難な状況を前向きにとらえて、今の自分にできること、すべきことをしっかり考え、自主的に取り組む夏休みにしてほしいと思います。

皆さん全員が感染対策をきちんと行いながらこの夏休みを有意義に過ごし、2学期始業式で元気で成長した姿が見られることを楽しみにしています。以上です。

校長 國木 健司